

クライアント PC での Cisco IP SoftPhone のインストールと設定

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[はじめに](#)

[Cisco.com からのソフトウェアのダウンロード](#)

[CD-ROM からのファイルのインストール](#)

[タスク 1: インストールの実行](#)

[タスク 2: プログラム フォルダの選択](#)

[タスク 3: カスタマイズ ファイルのダウンロード](#)

[タスク 4: ログイン アカウント情報の入力](#)

[タスク 5: スタートアップ オプションの選択と再起動](#)

[タスク 6: IP SoftPhone の初めての起動](#)

[関連情報](#)

概要

Cisco IP SoftPhone 管理者パッケージ (IP SoftPhone クライアントを含む) を取得するには、2 つの方法があります。Cisco.com の [シスコソフトウェアダウンロードサイト](#) からダウンロードするか、CD-ROM を注文します。

このドキュメントは、ドキュメント セットの一部です。これらの各ドキュメントの詳細については、このセット「[Cisco IP SoftPhone のインストールと設定](#)」の索引を参照してください。

このドキュメントでは、クライアントの観点から Cisco IP SoftPhone をインストールする方法について説明します。IP SoftPhone をサポートするように Cisco CallManager サーバを設定する方法については、「[Cisco CallManager での CTI ポートの設定](#)」を参照してください。

このドキュメントでは、Default Device Pool を使用します。また、すべての場所は <None> に、すべてのコーリング サーチ スペースは <None> に、すべてのパーティションは <None> に設定されます。必要に応じて、これらのフィールドの値を実際のトポロジに合わせて設定してください。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco CallManager バージョン 3.0(リビジョン .6 以降)
- Cisco CallManager 3.1 は、IP SoftPhone バージョン 1.2 以降が必要です。
- Cisco CallManager 4.01 の場合は、[リリースノート](#)で Cisco IP SoftPhone リリース 1.3(3) を Cisco CallManager リリース 4.0(x) と使用する場合の説明を参照してください。
- Windows 95、Windows 98、Windows NT 4.0 (SP4 以降) または Windows 2000

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

はじめに

Cisco.com からのソフトウェアのダウンロード

Cisco.com からソフトウェアをダウンロードすると、「sftphn-Admin-ffr.1-x-x.exe」のような名前の自己解凍 zip ファイルがダウンロードされます。x はバージョン番号です (例 : sftphn-Admin-fmr.1-3-3.exe)。このアーカイブには、Cisco IP SoftPhone を導入するために必要なすべてのファイルが含まれます。ファイルを実行して解凍します。次の解凍されたファイルが必要です。

CD-ROM からのファイルのインストール

CD-ROM からファイルをインストールすると、ソフトウェアはすでに解凍されています。コンポーネントをインストールしてドキュメントを表示するには、**setup.exe** を起動する必要があります。

タスク 1: インストールの実行

次の手順を実行します。

1. 設定プロセスを開始するには、**CiscoIPSoftphoneSetup.exe** (ダウンロードした場合)、または **setup.exe** (CD ROM から実行した場合) のいずれかを実行します。Cisco IP SoftPhone 用の InstallShield ウィザードに従ってプロセスを実行します。
2. インストールされるファイルを配置する場所が求められます。必要な場所を参照します。
3. [Next] をクリックします。

タスク 2: プログラム フォルダの選択

インストーラが IP SoftPhone のアイコンを追加するプログラム フォルダを選択します。

デフォルトでは、インストーラは Cisco IP SoftPhone というフォルダにアイコンを追加します。

[Next] をクリックして、タスク 3 に進みます。

タスク 3: カスタマイズ ファイルのダウンロード

この質問のボックスが表示されます。

Cisco IP SoftPhone インストール用のカスタマイズ ファイルがある場合は、[Yes] をクリックします。カスタマイズ ファイルの URL が要求されます。

注: ダウンロード可能な 3 つのカスタマイズ ファイルがあります。

カスタマイズ ファイル	説明
CCNSoftPhone.reg	ユーザの設定を保存します。
DialingRules.rul	ダイヤリング ルール設定を保存します。
Directories.dir	ディレクトリの設定を保存します。

これらは、Web インターフェイスを介して使用できます。これらのファイルに関する詳細については、「[IP SoftPhone のカスタマイズ ファイルの作成](#)」を参照してください。カスタマイズ ファイルがない場合は、[No] をクリックします。

タスク 4 に進みます。

タスク 4: ログイン アカウント情報の入力

[Local TSP Configuration] ダイアログ ウィンドウで、Cisco CallManager が自分に割り当てるユーザ名とパスワードを入力します。

注: Cisco IP SoftPhone で設定するユーザ名とパスワードは、Cisco CallManager が自分に割り当てるユーザ名およびパスワードとまったく同じである必要があります。[Next] をクリックします。

カスタマイズ ファイルを使用しない場合、Cisco IP SoftPhone が登録されている Cisco CallManager サーバの IP アドレスを入力する必要があります。

タスクが完了しました。タスク 5 に進みます。

注: Cisco CallManager 4.01 の場合、「Cisco CallManager Administrator 4.0 プラグインのインストール」ページから Cisco Telephony Service Provider (CiscoTSP.exe) をダウンロードしてインストールします。(デフォルトは `http://<CCM_SERVER>/CCMPluginsServer/CiscoTSP.exe`)。

CiscoTSP.exe をインストールする際に、デフォルトのインストール オプションに従います。

タスク 5： スタートアップ オプションの選択と再起動

Cisco IP SoftPhone のデスクトップ ショートカットを作成するかどうかを確認された場合は、[Yes] または [No] を選択します。

ユーザが Windows にログインするとすぐに、IP SoftPhone を起動するオプションが表示されません。

Cisco IP SoftPhone の使用開始前に、コンピュータを再起動する必要があります。 [Yes, I want to restart my computer now] をクリックします。次に、[Finish] をクリックします。

タスクが完了しました。タスク 6 に進みます。

タスク 6： IP SoftPhone の初めての起動

Windows の [Start] メニューから、[Programs] > [Cisco IP SoftPhone] > [Cisco IP SoftPhone] の順に選択します。デスクトップ アイコンのオプションが指定されると、アイコンが表示されます。

Cisco IP SoftPhone を初めて起動すると、Microsoft NetMeeting の設定プログラムが表示され、次に [Cisco IP SoftPhone Line Selection] ウィンドウが表示されます。以後のセッションで、主要なダイヤリング ウィンドウが開きます。

[NetMeeting Configuration] ウィンドウで、音声パラメータを調整し、システムのユーザ情報を指定するために、画面の指示に従います。

注意： Cisco IP SoftPhone のコラボレーション機能は NetMeeting の設定を行わないと機能しません。

[SoftPhone Line Selection] ウィンドウで制御する回線をクリックし、[OK] をクリックします。

注: 回線選択ウィンドウで回線が表示されない場合は、「[SoftPhone クライアントの設定のユーザ名とパスワードの仕様](#)」を参照してください。

回線を選択すると、画面は次のようになります。

タスクが完了しました。 [インデックス ページ](#)に戻ります。

関連情報

- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声と IP 通信製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)